

第3回 第2期石狩市食育推進計画策定委員会 会議録

日時 令和3年11月30日(火) 14時30分～15時15分
場所 石狩市役所201会議室(2F)
出席者 村田まり子委員長、吉田絵里委員、納谷眞智子委員、穴田めぐみ委員、本間敏子委員
事務局 企画経済部産業振興担当部長 本間孝之
農政課長 水野智之、農政課主査 袴田正、農政課主任 大川ありさ
スポーツ健康課主査 佐藤勇助、広聴・市民生活課主査 木本明美
学校給食センター主任管理栄養士 宮原三希恵
欠席者 清水祐美子副委員長
傍聴者 0名
次第 1. 開会
2. 議事
(1) 第2期食育推進計画原案について
3. その他
4. 閉会

====審議内容の記録(審議経過、質疑、意見等)====

※ 以下の質疑、意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会
2. 議事

(1) 第2期食育推進計画原案について(※事務局から説明)

●(水野課長) 原案説明に入る前に、前回会議における確認事項であった給食センターの地場産物の購入について農協に確認したので報告する。農協は食育・地産地消を推奨し、市内の子どもたちに安全安心な農産物を多く食べてもらいたいとの観点で入札に参加しており、今年は特に干ばつや高温で、農産物に被害があり、一部の野菜が高値になっても、契約に基づいた安価な価格で納入しているのが実状である。また、流通形態についても、農産物に応じて共選体制を整え、数量の確保と新鮮な野菜の納入ができるように、直送や一時保管を経て給食センターに納入している。金額を安くできないかという意見であったが、例えば入札方法を変えて、長期継続契約を導入するなど工夫し、更に安価に購入できる可能性を検討できないかの事。

なお、子ども食堂への食材の無料提供については、市内の農業者の理解を得ながら、継続したいとの意向である事を農協から伺っている。

●(袴田主査) 次に、原案について前回会議で示した素案から変更箇所を次のとおり説明。

[表紙] 農林水産省作成の食育を推進するシンボルマークと鮭太郎と鮭子のキャラを掲載。

[第1章] P1、計画の趣旨・目的の文章を肉付け。P2以降、関連する内容がわかるサイトにリンクするようQRコードを追加。P3、計画期間を10年とし、中間年の令和8年度で必要に応じ

て見直すことを記載。

〔第2章〕市の食育の現状と課題について、P4以降でアンケート結果を原案に含め、前回調査との比較を注釈として追加。設問1 朝食欠食7.5%（1日でも食べてない割合）→3.2%（週4日以上食べていない割合）に国の指標に合わせて表記修正。P10 設問7 表の各項目で多い回答を網掛けとし、注釈を下に追加。関連する自由意見をP11に追加。

〔第3章〕目指す食育のイメージについて、P12、キャッチコピーは、頂いた意見を整理し、持続可能な食育を進めるため『子どもの未来をつなぐ！いしかりっ子計画 「食べて」「見て」「ふれて」「学ぶ」食の力を身につけよう』とし、食の力を身につけるため、前回なかった「食べて」という表現を追加。目指す姿を「食を通じて子どもの心身の健康と生きる力を育む」と決定。P14、数値目標と現状値の集計整理の結果、前回素案から1、2、7を修正。※印の設定の理由を追加。P15、食育ピクトグラムは、食育を年代問わずわかりやすく発信し推進していくために農林水産省が制作したもので、以降、それぞれの施策の横に表記。

〔第4章〕施策の展開について、P16以降で主な取り組みとして各種事業の内容、対象、実施機関を追加。P16、1-(1)と(2)の推進テーマに「学校における食に関する指導の充実」を追加。P20、2-(3)の推進テーマに「食に関する指導を通じた食を「大切にする意識」の醸成」を追加。P22、3-(1)グリーンツーリズムの用語解説を追加。3-(2)推進テーマの「食に関する指導を通じた食を「大切にする意識」の醸成」を削除。P23、3-(3)フードマイレージの用語解説を追加し、推進テーマを変更。P26、推進体制イメージ図を変更。P27、資料に策定委員名簿と会議開催状況、石狩の農水産物の収穫時期を表記したカレンダーを追加。

【質疑・意見】原案の各章毎に確認

〔第1章〕委員からの質疑・意見なし

〔第2章〕

- （吉田委員）P10の給食時間の短縮は、教育カリキュラム上の問題で、新型コロナウイルス感染症が給食時間に与える影響はほとんどないと学校関係の会議で確認した。
- （水野課長）市内小中学校全体の意見という事でよろしいか。
- （吉田委員）中学校では、給食時間が30分と元々の短さもあり、一概に新型コロナウイルス感染症の影響とは言えない。
- （本間部長）新型コロナウイルスによる給食時間短縮についての文言は削除する方向で整理する。
- （村田委員長）自由意見との整合性もあるので合わせて整理した方が良い。
- （穴田委員）次のアンケート時期はいつか。5年後か。
- （水野課長）本計画は10年間で想定しており、5年後の令和8年度を中間年度とし、社会情勢等の変化により見直し、必要に応じてアンケートを取ることになる。
- （穴田委員）次のアンケート時期の明記が必要と感じたが、社会情勢に応じてアンケートを実施するという事で承知した。

〔第3章〕

- (村田委員長) P15 ピクトグラムは農林水産省が作成したのか。
- (袴田主査) そのとおり。

〔第4章〕

- (吉田委員) P18「学校での食育」の取り組みについて、講演会の実施は過去にも予定にも無い
ため削除して頂きたい。またP20「食育授業」は、「食育講座」として実施しており変更して頂きたい。
- (水野課長) 実状に合わせて訂正する。
- (吉田委員) P21の給食の写真と献立は石狩のみだが、厚田は入れないのか。
- (袴田主査) 事務局の意図としては、いしかりデーの給食の画像データを入れたかったが、データがないとのことで、給食の様子と献立表の掲載となっている。
- (吉田委員) いしかりデーの画像データはあるので提供する。

○(村田委員長) 以上で質疑を終了し、皆さんからいただいた意見も含め、計画原案の調整については委員長と事務局に一任させていただくということでよろしいか。

※委員から異議なし

3. その他(※事務局より説明)

- (袴田主査) 今後の予定について次のとおり説明。
12月10日総務常任委員会で原案報告。12月20日から1か月間パブリックコメントを実施、意見整理。2月下旬頃に第4回策定委員会を開催、計画決定となる予定。
- ※委員からの質疑なし

4. 閉会

令和3年12月22日 議事録確定

第2期石狩市食育推進計画策定委員会

委員長 村田まり子